

科目名	電気法規	英語科目名	Electrical regulations
開講年度・学期	平成28年度・後期	対象学科・専攻・学年	電気情報工学科5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2単位	単位種類	学修単位（講義A）
担当教員	稲葉雄一（非常勤）	居室（もしくは所属）	電気情報工学科
電話	教務係	E-mail	教務係
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標（JABEE）	JABEE 基準要件
1. 電気事業法の目的や電気事業の種類について説明できること。	④	A	d-1、g
2. 電気工作物の種類や自主保安体制の内容について説明できること。			
3. 電気事故報告せねばならない場合について説明できること。			
4. 自家用電気工作物の設置者に課す義務について説明できること。			
5. 電気設備技術基準の基本事項について説明できること。			
6. 電力負荷特性を示す数値について説明できること。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1-6：中間試験及び定期試験での関連問題において60%以上の得点により達成とする。 中間試験及び定期試験は自学自習課題の内容を含む			
評価方法			
下記2項目の加重平均によって評価する。			
1. 中間・定期試験（80% ただし、中間試験と定期試験の得点配分は4：6とする）			
2. 課題の解答内容（20%）			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間	
1. 電気関係法規の体系及び必要性	電気に関係する法律の必要性について理解する。	4	
2. 電気事業の種類と特質	電気事業の特質について理解する。	4	
3. 電気事業法の目的と事業規制	電気事業法の目的について理解する。	4	
4. 事業規制（続き）、計量法、電源三法	復習問題1を解答し復習する。	4	
5. 電気保安の考え方、電気工作物の種類	電気の保安確保の考え方について理解する。	4	
6. 事業用電気工作物の保安体制	事業用電気工作物の自主保安体制について理解する。	4	
7. 一般用電気工作物の保安体制	復習問題2の1～4を解答し復習する。	4	
8. 中間試験	これまでの授業内容について復習する。	4	
9. 電気工作物による障害防止の考え方	電気工作物による障害防止の考え方について理解する。	4	
10. 電気設備技術基準・解釈（用語の定義）	電圧に関する用語および電圧区分について理解する。	4	
11. 電気設備技術基準・解釈（接地工事）	接地工事の目的と種類及び内容について理解する。	4	
12. 電気設備技術基準・解釈（保安装置）	電路の保護及び保安装置について理解する。	4	
13. 電気設備技術基準・解釈（電線路）	復習問題3の1～6を解答し復習する。	4	
14. 電気施設の管理と運用（負荷の特性）	復習問題6の3を解答し復習する。	4	
15. 電気施設の管理と運用（系統の運用） （定期試験）	これまでの授業内容について復習する。	4	
自学自習時間合計			60
キーワード	事業規制、保安規制、自主保安、電気主任技術者、技術基準、需給バランス、系統運用		
教科書	竹野正二「電気法規と電気施設管理」東京電機大学出版局		
参考書			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	電気機器工学		
現学年の関連科目	電力システム工学、高電圧工学		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
1. 授業方法は講義を中心とし、演習問題や課題を出して解答の提出を求めます。			
2. 問題や課題は必ず行い、電気技術者として必要な関連法規の概要を理解してほしい。			
3. 試験時間は60分とし、教科書、配布資料、ノート、電卓の持込は不可とします。			
シラバス作成年月日	平成28年2月5日作成		